

「その時、あなたはどうしますか」 豪雨時の避難訓練

本校では安全・防災の観点から避難訓練を毎学期に1回程度

実施しています。26日には水害時の避難訓練を実施しました。水害の避難訓練を行うのは初めてで、今夏の職員臨地研修の際、前山地域の住職の方から丹波市豪雨災害の話聞いた防災担当が「子どもたちに自分の身を守る方法を身につけさせたい。特に被害の大きかった竹田・前山地域では大切な訓練になるのではないかと今回提案してくれました。こうした新たな取組を行うことは、私たちの防災への意識を高めるだけでなく、先生方にとって自分も新たな挑戦を試みようという校内風土や文化を創ってくれると

だい1もん
・2014年の「たんば市ごう
う」では、竹田、さき山ちいき
では、ひがいはなかった。〇か
×か。

せいかいは、
とても大きなひがいがありました。



正しい「すいちやくひなん」のしかた
・できるだけ（上）のかいに
・できるだけ（山）からはなれる

がっこうでは…
じぶんのがくねんの きょうしつに ひなん！



感じています。

訓練では「線状降水帯による大雨で川が氾濫するなど避難することができない場合」は、無理に避難所を目指すのではなく、自宅にいて垂直避難することが大切であることを学ぶ訓練としました。

子どもたちは火事や地震を想定した避難訓練では、危険がせまる校内から安全なグラウンドなどへ避難をしていますが、今回の水害訓練では2階・3階の教室の方が安全であること、災害によって

は家や校内の安全な場所にとどまる方がよいことを学んだと思います。訓練後は、私から豪雨災害当時、校内の泥や流木の撤去等々、多くのボランティアの方々にお世話になったこと、また停電・断水などライフラインが停止していて、地域の皆さんも本当に大変な思いをされていたことなどを伝えました。

これからも豪雨災害の経験や教訓をつなぎ、子どもたちが自然災害から自らの命を守る適切な判断力や主体的に行動する態度を育成できるよう、保護者・地域・関係機関と連携した防災訓練に取り組んでいこうと考えています。